

鳥居龍蔵が見た120年前の沖縄

—人々の生活と風景—



石垣島の獅子舞



獅子舞のスケッチ



沖縄島



与那国島

石垣島

宮古島



首飾りのスケッチ



八重山諸島の家屋と人々



庶民の衣服スケッチ

鳥居龍蔵が、はじめて沖縄を訪れたのは、1896(明治29)年の第1回台湾調査の帰途でした。このうち、1904年6月中旬から8月初旬にかけて、沖縄島や八重山諸島で本格的な調査を行いました。しかし、この時の鳥居による遺跡の発掘調査が、沖縄考古学の黎明として現在でも高く評価されているのに比べ、同時に行われた民俗調査は、極めて早期のものですが、その詳細についてはあまり知られていません。

そこで、今回の展示では、鳥居による民俗調査の一端について、特に1904年に行われた八重山諸島での調査に焦点を当て、およそ120年前の写真やスケッチをもとに、紹介します。

2022

2023

11.15_火 ▶ 4.16_日

●展示場所

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 常設展示室 第2展示室内

●開館時間

9:30 ~ 17:00

●休館日

毎週月曜日(ただし1月9日(月・祝)は開館、1月10日(火)が休館)
年末年始(12/29-1/4)

●観覧料

通常の常設展観覧料(一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円)
※祝日無料 ※各種減免あり

八重山諸島発見の曲玉